

学校支援について考えましょう

学校支援ハンドブック

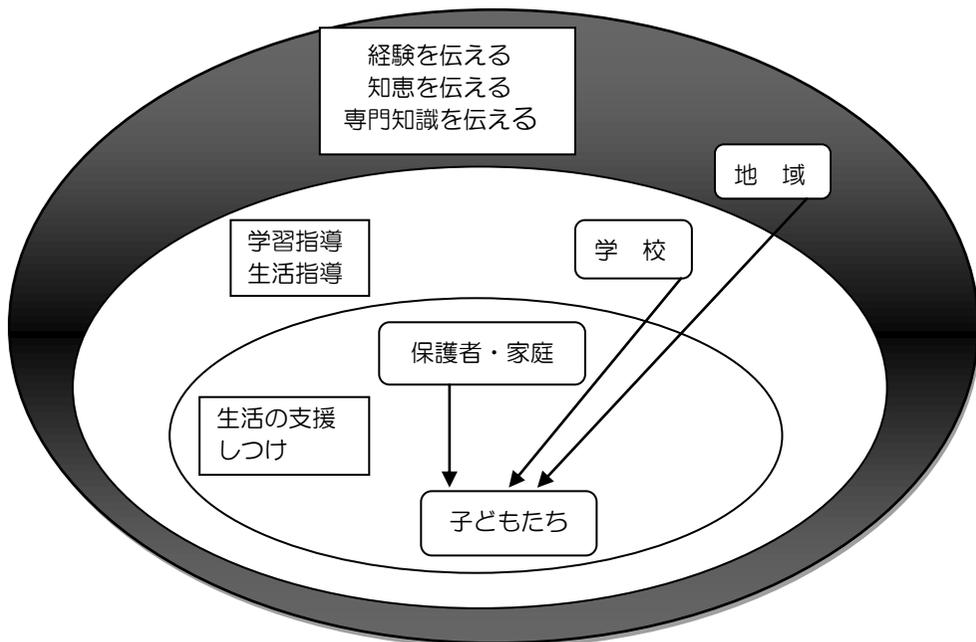
特定非営利活動法人
スクール・アドバイス・ネットワーク

子どもたちの今

今の子どもたちは、昔に比べて流行に敏感で、携帯電話やパソコンなどを駆使することができ、情報をうまく利用することができるなどの良い点もたくさんある一方、昔とは違う問題点も見られます。

今の子どもたちの問題点は

- メディアからの情報が過多になり、擬似体験や間接体験が増加しています。
- 兄弟姉妹の数が減少しており、核家族化の傾向も見られ、生活・社会体験が不足しています。
- 身体を使う遊びが減少して、基本的な運動の機会が減少しています。
- 学校の授業が終わった後も、習い事・塾に時間を費やし、ゆとりのない生活をしています。
- 学校の勉強と社会とが結びつかず、なぜ自分は勉強をしなければならないのかをイメージできない子どもたちがいます。



では、その子どもたちをどのような環境で育てていくことが必要なのでしょう？

- 子どもたちは学校での教育、学校での集団生活が必要です。
- 子どもたちには家庭教育が必要です。
- 子どもたちは社会全体で育てられることが必要です。
- 疑似体験・間接体験ばかりでなく、直接体験が必要です。
- 異年齢の交流など、多様な人々との交流の中で社会性を身に付けることが必要です。

地域による支援の効果

教育は、社会の皆が関わる必要があります。
よく、「今の子どもたちは・・・」という言葉を聞きますが、子どもの教育の何もかもを学校にお任せにしてきた、大人の責任も問われるのではないのでしょうか？

これからの子どもは、家庭・学校・地域がともに手を取り合って育てていくことが必要です。

学校は、地域に支えられ、また地域に貢献する「地域に根差した学校」となるために、学校をより「開かれた存在」にしていこうとしています。

そこで、地域の人たちが学校に関わることによる効果について考えてみましょう。

子どもたちにとっては・・・？

- 地域の人たちと接することにより、多様な価値観に触れることができます。
- 地域の人たちを通して、地域への愛着心が生まれます。
- 地域の人たちの経験、知恵、また専門的な知識や体験を受けることにより、学習に対する一層の意欲が出て、生きる力が育まれます。
- 地域の人たちと関わることにより、社会性、マナー、コミュニケーション能力を、より育てることができます。

学校にとっては・・・？

- 地域の人たちの力を借りて、今までできなかったことを実現することができます。
- 専門的なアドバイスを受けることができます。
- 教員とは異なる視点からの提案が受けられ、新しい授業づくりを工夫することができます。
- 子どもの実態を地域で共有することができ、学校での問題を地域の問題として、協力して活動を進めていくことができます。

地域にとっては・・・？

- 今までの経験や知識が役立っていくことで、充実感を得ることができます。
- 子どもたちから、元気をもたらえます。
- さらに向上していくための意欲が生まれます。
- 子どもたちと顔見知りの関係になることにより、地域の他の場所においてもつながりをもつことができるようになり、それが地域の安全にもつながります。

地域による学校支援

私たちにできること



地域による学校支援…何ができる？

地域の人たちが学校を支援する…といっても、何をすればよいのかよく分からないこともあるでしょう。学校で行われていることをよく知ることで、何を支援できるかのヒントが見つかります。

学校教育活動の支援例

● 教科

国語…朗読 書写・書道 読書指導
社会…戦時体験を語る 世界の国々の文化などの紹介
理科…植物の話 動物の話 理科実験サポート
音楽…和楽器指導（和太鼓・琴・三味線・尺八・篠笛など）
図工…水彩画 木工 陶芸
体育…陸上競技 水泳 器械体操 なわとび ダンス
保健…飲酒・喫煙・薬物乱用の防止 生活習慣を整える大切さ
かぜの予防
家庭…ミシンサポート 裁縫サポート 調理実習サポート
子育ての体験談
外国語…英会話サポート 英語活動サポート

● 総合的な学習の時間・生活

キャリア…生き方指導 職業についての話 人生の経験談
環境…廃棄物の処理（リサイクル、資源活用） 自然保護 自然観察
省エネルギー 地球温暖化防止
福祉…車いす体験 アイマスク体験 高齢者疑似体験 点字
手話 障害者との交流
情報…パソコンの使い方 ネットリテラシー 情報紙製作
プレゼンテーションの方法
食育…伝統料理 おやつ正しい食べ方 正しい食事のとり方
食事のマナー

国際…外国の紹介 海外生活の体験談 様々な国の人々との交流
通訳
伝統…茶道 華道 地域に伝わる伝統文化 伝承遊び
表現…ディベート 面接の方法

● クラブ活動・部活動

パソコン 手芸 料理 陶芸 囲碁将棋 和太鼓 琴 ギター
吹奏楽 華道 茶道 書道 絵画 漫画 アニメーション
コンピューターグラフィックス 野球 サッカー バスケットボール
テニス バトミントン 水泳 など

● 学校行事

来校者への対応 安全管理 行事記録・写真撮影 ビデオ撮影
行事立て看板記入 賞状等への記入 スポーツ行事へのサポート
講話授業 演奏会

● その他

教科指導のための教材教具作成 学校図書館の運営
校外学習の引率補助 介助サポート

学校環境整備の支援例

校庭の緑化整備 生き物の飼育 郷土資料室整備

学校外教育の支援例

放課後の安全安心の居場所づくり 土曜日教室 スポーツ教室
本の読み聞かせ 朝勉強（プリント指導のサポート） 朝遊び見守り

学校に入る側も、受け入れ側も…心得ておきたいこと

入る側

(地域・保護者の心得)

学校に対して

- 学校の教育方針や、学校内のルールを尊重しましょう。
- 学校支援ボランティアは、ボランティアだからといって、自分の好きなことばかりやっていたはいけません。学校の希望をよく聞き、共に活動しましょう。
- 学校へは、苦情やクレームではなく、子どもたちのために何ができるかを「提案」していきましょう。
- 教員との連絡は放課後がとりやすいですが、メールは使えないことがありますので、ファックスを利用するなど工夫してやり取りをするのがいいでしょう。
- 協力内容などが決まったら、事前に打ち合わせをするなど、双方の希望の調整をしておくトラブルが防げます。

児童生徒に対して

- 児童生徒には、分かりやすく話しましょう。
- 児童生徒には、公平な態度で接しましょう。
- 児童生徒、一人一人の人格を尊重し、「ほめる」姿勢をもちましょう。
- 児童生徒が求めている話は何かを、きちんと理解したうえで内容を決めましょう。

その他

- 学校内で知り得た個人情報や秘密事項は、固く守り、決して口外しないようにしましょう。
- 学校は時間が命です。与えられた時間を超過しないようにしましょう。
- 主体となるのはあくまでも児童・生徒です。支援者であるという姿勢を忘れないようにしましょう。

- 活動依頼は早めにしましょう。
- 協力をお願いする内容については、学習のねらい・当日の流れ・活動場所・時間などについて事前によく打合せをするようにしましょう。
- 協力してくださる方の所属により、依頼書などが必要なることがあります。いずれにしても文書での依頼は間違いがないので、作成するようにしましょう。
- 活動に必要な情報はできるだけ提供しましょう。協力者も、学校の情報を知っていることにより、安心して活動することができ、さらに充実した活動につながっていくことでしょう。
- 但し、個人情報の取り扱いには十分に注意しましょう。
- 教材をコピーして使用する時は著作権について注意を要する場合もあるので、事前に確認をしておきましょう。
- 児童生徒の写真を撮る場合などは、あらかじめ許可を得ておく必要が生じる場合がありますので、配慮をしましょう。
- 協力者へのお礼も忘れずに、手紙やメール、電話で行うようにしましょう。